

独自の微細加工技術で 多様なニーズに対応

納期相談
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



切削加工による精密部品をさまざまな分野に提供

業務内容 切削加工で微細な 穴開けや溝入れを実現

プラスチックの切削加工を手がけ、計測機器やセンサー、ノズルなどの精密部品を製造する。金型を使わない切削で精度が高い板状や円筒状の材料への0.1mm以下の穴開けや溝入れ、細い長尺物の加工が得意だ。創業以来、特定分野での加工を請け負ってきたが約10年前からインターネットや展示会を活用して自主的な営業活動を始め、計測機器など精密さが求められる分野で受注が増えていった。現在では微細加工がメインとなっている。加工の微細化や高精度化といったニーズにこたえて複合旋盤や5軸加工機を導入し、技術レベルをさらに高めている。

強み 最適な材料提案、 加工の工夫で精度向上

性質が異なるさまざまなプラスチック材料の中から用途に応じて最適な材料を選定し、顧客に提案している。プラスチックに炭素繊維やガラス繊維などを配合した複合材料や耐熱性や強度が非常に高いエンジニアリングプラスチックなどの特殊材料も扱う。材料に合わせた形状も提案可能だ。

品質や精度の追求にも余念がない。除去が難しいマイクロメートル単位のバリは顕微鏡で見ながら手仕上げで取り除き、ゆがみやひずみは最初から計算に入れて加工する。工具の刃物も材料特性や切削後の熱の影響を考慮して選ぶなど、工夫を重ねている。

工法開発 微細加工技術を 医療分野に展開

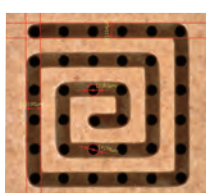
微細な穴開けや溝入れといった得意な加工技術を用いて、水など液体の粒子を煙のよう

に細かくする工法を開発した。噴霧した場所の周囲が水滴で濡れる心配がなく、ノズル部品に活用できるという。こうした技術はすでに、クリーンルームで使われる半導体用の加湿装置に部品として搭載されているが、適用分野をさらに広げていきたいと考えている。

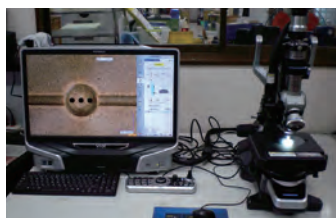
今後の展望 設備更新で性能を高め 技術を進化

自ら積極的に受注を取りに行く営業活動で対応の幅を広げてきたことで、「複雑で精密な加工の受注が増えてきている」と井上敬治郎社長は手応えを語る。今後も顧客のさまざまな要望に対し、豊富な知見を持つベテランと難度の高い加工に取り組む若手が密に連携し最適な加工方法を考えて試行錯誤を繰り返すことで技術を磨くほか、設備の性能も上げて加工工程の生産性を高めていく。

特殊な加工機の追加導入も検討しており、加工設備だけでなく3次元測定機や画像測定機といった機器も含め、必要に応じて新たな設備投資を実施する方針だ。



0.1mmの溝に
直径0.08mm
の微細穴加工



高性能の測定機器で品質を確保

当社の歴史



創業以来、液晶や半導体、スピーカー部品などの加工に集中して取り組んできましたが、10年ほど前から自主的な営業活動を始めたことで分野が広がり、多種多様な部品の製作が可能になりました。今後も製品に新しい機能や価値を付加することを目指し、微細加工や難度の高い加工に取り組んでいきます。

代表取締役 井上 敬治郎さん

<http://www.ijkk.co.jp/>

主な事業内容
プラスチック切削加工

主な取引先(納入先)
計測器メーカー、
センサー機器メーカー、
ノズルメーカーなど

●住所 〒571-0038
門真市
柳町26-1
●TEL 06-6909-2227
●FAX 06-6908-0308
●創業 昭和45年2月
●設立 昭和63年11月
●資本金 1,000万円
●従業員 10名